議題6　予防接種事業の広域化について

資料6

市名		各市の状況
1	名古屋市	愛知県医師会が提案する広域化については、事務的・経費的な負担が大幅に増加することが見込まれる。こうした負担に対する対応が可能かどうか検討が必要である。
2	豊橋市	現在検討中の「愛知県予防接種広域化調整会議」での方針を受け、今後の対応を検討していきます。
3	岡崎市	現在、予防接種の広域化については、愛知県予防接種広域化調整会議において検討が行われているところです。本市では、市民の利便性を考え、市外のかかりつけ医でも定期予防接種を接種することができるよう県内の広域化に協力していきたい。 なお、定期予防接種の県内広域化を協議するにあたり、愛知県国民健康保険団体連合会に対し、請求・支払い事務の委託機関として協議に加わることについて要望するよう、岡崎市医師会から本市に対し依頼があったので、他の市町村と足並みをそろえて要望していきたいと考えている。
4	一宮市	現時点での愛知県広域予防接種（案）（委託料を各医療機関へ直接支払う方法）で実施するのは事務的に煩雑であるため、愛知県国民健康保険団体連合会を活用する方法を検討していただきたいと考えます。 よって、今後開催される調整会議で検討された結果により、今後の準備、対応は変わってきます。
5	瀬戸市	広域化については、平成25年5月31日に行われた「愛知県予防接種広域化調整会議」において愛知県医師会が今後、運営協議会を立ち上げ、協議に入るという状況であると認識しております。このため、議論の推移を見ながら、その結果に応じた準備等を行う予定です。本市としては、費用決済方法、接種費用の統一化、依頼に関する事務手続きに関することなどが課題になると考えています。【健康課】
6	半田市	予防接種事業の広域化については、今後、担当者会議等の中で詳細な実施内容や事務手順等が示され、その内容を吟味し参加可能であると判断した場合は、平成26年度から参加していく予定です。
7	春日井市	平成24年6月から尾張北部医療圏域内広域予防接種として、小牧市、岩倉市、犬山市、江南市、扶桑町及び大口町の7市町による広域予防接種を実施しています。 また、現在は愛知県全体における広域予防接種の実施について、愛知県及び愛知県医師会において検討が進められています。 【課題・問題点】 1　補助金制度等を利用し、本市以外の医療機関で接種を行うことができるため、本市においては広域化にする必要がないこと。 2　各自治体により接種料金、予診票の様式、接種方法が異なるため、事務が煩雑になること及び接種医療機関における混乱が予想されること。
8	豊川市	予防接種事業の広域化についての詳細が明らかになり次第、その内容及び県の指示を踏まえ準備等を検討し、実施していく予定です。
9	津島市	海部津島地域の市町村では、3年前から予防接種事業等について、地元の津島市医師会及び海部医師会と協力して、広域的に実施しています。 県内全域での予防接種広域化については、動向を見ている状況で特別な準備はしていません。

市名		各市の状況
10	碧南市	来年度、予防接種が広域化されるにあたり、まず、当市において行っているBCGの集団接種を個別接種へ移行していかなければならないと考えています。BCGの個別接種に向けて接種手技の研修会を開催予定です。それ以外は、特に具体的に動いていませんが、今後とも県からの情報を注視して参ります。
11	刈谷市	現状では、詳細は未定です。今後、予防接種広域化調整会議に参加しながら随時検討予定です。
12	豊田市	愛知県及び愛知県医師会の進捗を確認し、当市のサービスとの調整を行う予定だが、具体的な内容は今後の動向を注視しながら検討、判断する予定。
13	安城市	県（市町村）と愛知県医師会との協議の動向をみながら、今後の準備・対応を考えていきます。
14	西尾市	現在はまだ準備していません。今後予防接種事業の広域化に関する近隣市の状況を見て対応して参ります。
15	蒲郡市	今後の対応等については、県予防接種広域化調整会議の進捗状況を見ながら検討予定。
16	犬山市	予防接種の広域化については、尾北医師会管内に平成２４年６月より春日井市、小牧市、岩倉市を加え尾張北部圏域内広域予防接種として実施している。愛知県下の広域化については、県の予防接種広域化調整会議を受けて、実施の方向で検討していく。
17	常滑市	予防接種広域化調整会議では、運営協議会を設置し詳細については、今後検討し決定するとの説明があった。もう少し、具体的な内容が示されてから、検討・準備に取り掛かる予定です。
18	江南市	愛知県の広域化会議での決定事項で条件が合えば実施する予定 条件：江南市が尾北医師会と契約している単価で支払う 予診票は、被接種者住所地（江南市）のものを使用する
19	小牧市	平成24年６月より尾張北部圏域内広域予防接種を開始している。 県での広域化に向けては状況に応じ、市医師会との協議、予算の確保等の対応が必要となると考える。
20	稲沢市	広域化については、予防接種体制の整備が必要と考える。準備については、どのような体制にするかで違うと考えます。 例えば、接種費用については、個別接種・集団接種、委託料等自治体間格差があるので、調整に時間がかかると考えます。 また、当市として県内どこでも接種できる体制が整備されることは、市民にとって有益と考えますが、できるだけ事務等が合理化され、費用が高騰することなく、広域化（県内統一）されることを希望します。

市名		各市の状況
21	新城市	予防接種の広域化については、これから愛知県、愛知県医師会及び県下市町村で調整会議を重ね、実施準備を進めるとされている。 現段階においては、事業実施方法や各機関との調整方法等が不明確であるため、事前準備等していない。 調整会議で検討を重ねる中で、不具合の点も出てくるものと思われるため、実施条件を整えたうえで、改めて広域化への参加不参加の判断を行えばよいと考える。 広域化実施に当たっては、事務の煩雑化を防ぐため、予防接種予診票、請求書等の様式は、愛知県下で統一する必要があるとも考える。 また、愛知県医師会では、5月27日に県下各地区医師会に予防接種広域化の説明を行ったとのことであるが、県下各地区医師会の予防接種広域化に対する意見、理解、協力などの状況もご教示いただきたい。
22	東海市	現在、東海市では、母親の里帰りまたはアレルギー等の疾患により、市外の医療機関に入院・通院している場合には、保護者から事前に申請していただき、入院・通院している医療機関へ依頼書を発行し、償還払いを行っている。（一部医療機関については、委託契約をしている。） 広域化については、条件がそろえば広域化に参加するとしている。 例えば、妊婦健診のように料金の統一ができるのか、また実施要領の統一化等に関する検討や作業の行程がまだ明確でないので、特に準備はしていない。 今後、複数回開催されると思われる会議等において、広域化の諸問題解決について、県が中心となって市町村まかせとならない対応をお願いし進捗状況を注視して行きたい。
23	大府市	愛知県や愛知県医師会及び各市町村の動向を見ながら、進めます。
24	知多市	知多市では現在、定期の予防接種については、子宮けいがん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを除き、原則として集団接種で実施しており、8月から医療機関接種を実施する予定である。このため、各医療機関では経験が少ないので、来年度の実施に向けては医療機関との調整が必要である。 県内の医療機関からの請求に対する支払事務が煩雑となるため、国保連合会などでまとめていただきたい。
25	知立市	県医師会から具体的に事業概要が指示された後対応していきます。概要がはっきりしていないため、早期に提示していただきたいと思います。
26	尾張旭市	現在県から情報収集等行い、検討しているところです。
27	高浜市	本件につきましては、愛知県医師会が中心となり、実施に向けて準備を進めています。 引き続き会議等の開催も予定されておりますので、今後示される方向を受け検討いたします。
28	岩倉市	岩倉市医師会も県下での広域化予防接種を望んでいることもありますので、近隣市町の状況をみつつ準備を進めていくことになると考えます。
29	豊明市	特別な理由で市内指定医療機関外で実施の時、事前に実施希望医療機関所在地の自治体に依頼書でお願いしています。しかし、依頼書で対応できない場合は、直接医療機関と契約し実施しています。今後広域化になった場合市民のメリットは、行政のメリットは何かまだ見えない状況です。

市名		各市の状況
30	日進市	当市では、市内指定医療機関で対応できない予防接種(接種注意者・寄留地依頼)について、次のように対応している。①接種注意者　主治医のもとで接種できるよう個別に医療機関と委託契約を締結し対応する。②やむ得ない理由により市外に寄留している場合は、寄留地依頼を実施する。寄留自治体に依頼書を送付し対応する。ただし寄留地依頼を受け付けていない自治体の場合は、委託契約を検討する。
31	田原市	住民の利便性が向上し、接種率の向上を目的に愛知県が県医師会、市町村の調整役を担うために開催されている「愛知県予防接種広域化調整会議」に出席し、方針を検討中。
32	愛西市	7／4の第2回調整会議において、委託料は統一せず、住所地の市町村の設定する委託料で支払う方針が出されましたが、市町村の財政事情もあるため、委託料については、医院の所在地の市町村の設定する額とすること、又は各市町村の平均委託金額で統一単価を設定すること、国保連での支払いが可能か、接種券・連絡票の簡略化など、愛知県の立場で今後、働きかけをしていただくことを要望します。
33	清須市	愛知県予防接種広域化調整会議にて県・県医師会の説明を受けたところです。 今後は県や他市町の動向等情報収集していく予定です。
34	北名古屋市	現在、北名古屋市では2市1町で医師会と契約して予防接種事業を実施している。 以前に、県医師会から提案があったとおり、地域の医師会の単価で対応できるような契約方法で愛知県医師会と契約し、広域化を行っていくようにお願いしたい。 乳児の定期接種が、生後2か月から実施していることから、里帰り出産の対応のためにも県内の広域化が望ましい。
35	弥富市	愛知県の説明会資料に基づき事務は進めては行くが、料金統一のない広域化は、市としてのメリットは無いと思われるので、料金統一をお願いしたい。近隣の市町村との広域化は、料金統一で実施しております。
36	みよし市	広域化の対応準備等については、近隣の動向を見ながら検討してまいりたいと考えます。予防接種による事故予防のための研修会の開催や事務が煩雑化しないよう、県の主導で、愛知県医師会、地元医師会及び愛知県国民保健連合会との調整を図っていただきたいと考えています。
37	あま市	7／4の第2回調整会議において、委託料は統一せず、住所地の市町村の設定する委託料で支払う方針が出されましたが、市町村の財政事情もあるため、委託料については、医院の所在地の市町村の設定する額とすること、国保連での支払いが可能か、接種券・連絡票の簡略化など今後、働きかけができればと思います。
38	長久手市	県の説明会に応じ、これから検討する。